

九州南部・奄美地方の1か月予報解説資料

(11月5日から12月4日までの天候見通し)

平成23年11月4日
鹿兒島地方気象台発表

1. 出現の可能性が最も大きい天候の特徴

(1) 向こう1か月

九州南部では天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。奄美地方では、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

期間の前半は気温が平年より高く、かなり高くなる可能性もあります。

向こう1か月の平均気温は、九州南部で高い確率70%、奄美地方で高い確率60%です。降水量は、九州南部で多い確率60%、奄美地方で多い確率50%です。日照時間は、九州南部で少ない確率60%、奄美地方で少ない確率50%です。

(2) 各期間の天候

1週目(11.5~11.11)

天気は、期間の中頃に高気圧に覆われて晴れる所もありますが、気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめと後半に雨の降る日があるでしょう。

(詳しくは週間天気予報をご利用ください。)

気温は、九州南部で高い確率80%、奄美地方で高い確率70%です。

2週目(11.12~11.18)

天気は数日の周期で変わり、九州南部では平年と同様に晴れの日が多く、奄美地方では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、九州南部で高い確率50%、奄美地方で高い確率70%です。

3~4週目(11.19~12.2)

九州南部では天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。奄美地方では、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2. 地上気温予報資料

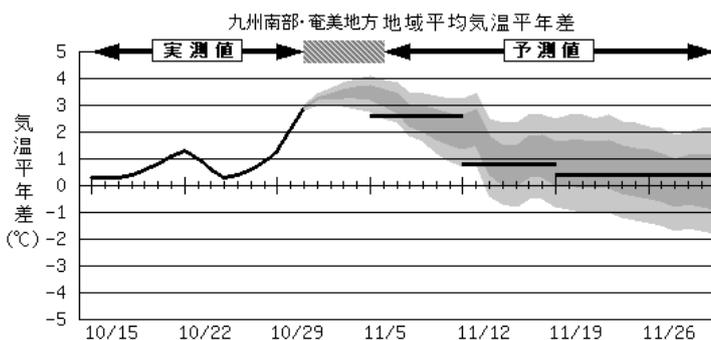


図1 九州南部・奄美地方の地上気温予想図

※ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日を表しています。例えば、横軸“4日”の値とは“1~7日の平均値”の意味です。実況期間の太い実線は地域平均気温平年差(7日間平均値)を表しています。

※ 予報期間には、7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影)を表示しています。

※ 予報期間の水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表しています。

※ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

3. 九州南部・奄美地方の代表地点における天気日数の平年値

表1 各地点における平年の天気出現日数

鹿兒島	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	16.5	4.1	3.9	8.4
降水日数	6.9	1.7	1.7	3.5

宮崎	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	18.2	4.4	4.4	9.4
降水日数	5.9	1.5	1.6	2.8

名瀬	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	8.8	2.8	2.3	3.8
降水日数	10.1	2.3	2.5	5.4

4. 予想循環場の特徴

向こう1か月平均の500hPa高度の予想図(図2)では、日本付近の高度は平年より高い予想となっています。向こう1か月平均の850hPa気温の予想図(図3)では、日本付近は平年より高い予想となっています。特に、九州南部・奄美地方は高温傾向が明瞭となっています。向こう1か月平均の地上予想天気図(図4)では、日本付近の等圧線の間隔は広がっており、冬型の気圧配置は弱いことが予想されます。また、日本付近には気圧の谷や前線によると思われる降水域が日本の南海上を中心に予想されています。

等値線間隔 高度：60m 平年偏差：30m



図2 500hPa 高度と平年偏差(11.5~12.2平均)
(陰影は平年より高度が低い領域を示す)

等値線間隔 気温：3°C 平年偏差：1°C

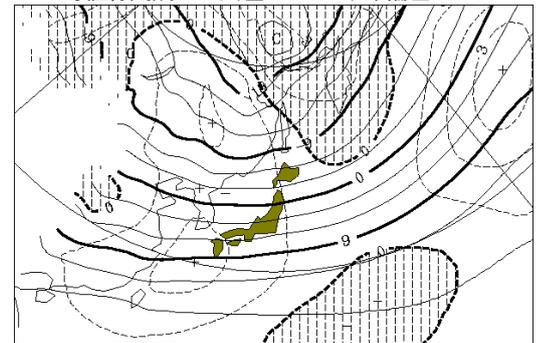


図3 850hPa 気温と平年偏差(11.5~12.2平均)
(陰影は平年より気温が低い領域を示す)

等値線間隔 海面気圧：4hPa 降水量：40mm

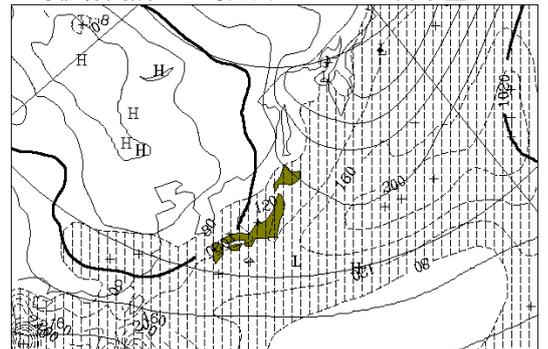


図4 地上予想天気図(11.5~12.2平均)
(陰影は80mm以上の降水が予想される領域を示す)

5. 最近1週間(10月28日~11月3日)の実況

最近1週間は、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなり、10月28日から30日かけてと11月2日は大雨となった所がありました。

気温は、全ての地点で平年を上回り、地域平均平年差は九州南部では+3.1°C、奄美地方では+2.1°Cとなりました。降水量は、ほとんどの地点で平年を上回り、地域平均平年比は九州南部では262%、奄美地方では241%となりました。日照時間は、沖永良部を除く全ての地点で平年を下回り、地域平均平年比は九州南部では42%、奄美地方では65%となりました。

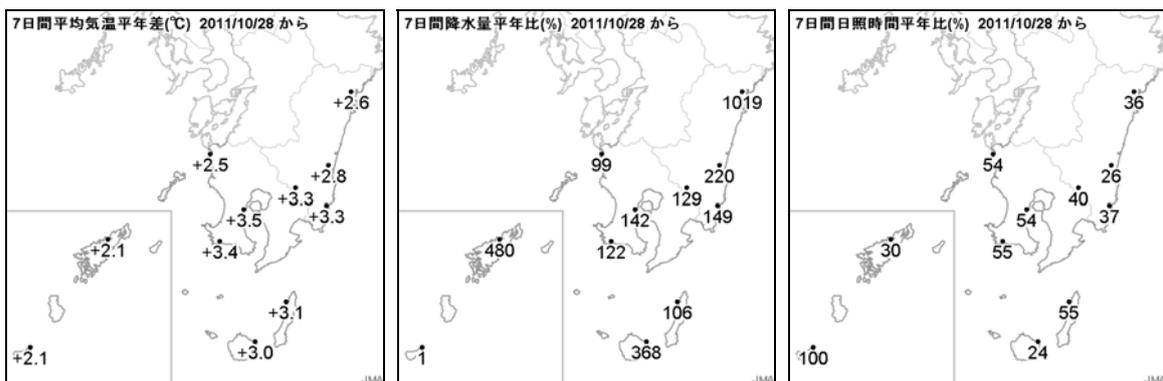


図5 九州南部・奄美地方の最近1週間(10月28日~11月3日)の実況

※注

- 1か月予報では大気の流れの状態により、予測しやすい場合と予測しにくい場合があります。このため、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用し、予報結果のばらつき具合から予報の信頼度や確率を計算します(この手法をアンサンブル予報といいます)。一般に予報結果がばらつかないほど信頼性が高くなり、最大予報確率も大きくなります。また、すべての予報結果を平均した予報(アンサンブル平均予報)は、最も信頼性が高い予報と考えられます。
- 季節予報では「日照率40%以上の日数」を晴れ日数、「降水量1mm以上の日数」を降水日数と定義しています。この2つの事象は同じ日に起こり得るため、両方に数えられる日もあります。
- 九州南部・奄美地方を九州南部(宮崎県、薩摩地方、大隅地方、種子島・屋久島地方)と奄美地方とに分けて表現しています。特に表現しない場合は全域を指します。